

「Ruby規格保守等基本契約書」調印式を島根県で開催 ～プログラム言語 Ruby の標準開発を国際的な活動へ～

一般財団法人 Ruby アソシエーション（理事長：まつもと ゆきひろ）と IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：藤江 一正）は、IPA が作成した原案を元に制定された Ruby 言語仕様の国内・国際規格文書について、Ruby アソシエーションが規格の保守および改訂の作業を主導する体制とするために「Ruby規格保守等基本契約」を締結することとなり、同契約書への調印式を2013年5月13日に島根県松江市において開催します。

プログラム言語 Ruby は1993年にまつもと ゆきひろ氏により発案され、開発が開始された、日本発のプログラム言語です。豊富な機能と簡便さとを併せ持ち、高機能なアプリケーションを簡潔に記述できる等の特長があります。

IPA では2008年に Ruby 標準化検討ワーキンググループを設置し、Ruby の言語仕様の規格文書策定事業を進めてきました。その結果、2011年3月には JIS 規格（JIS X 3017）が制定され、2012年4月には国際規格 ISO/IEC 30170 が発行されました。

このたび、国際規格化の完了を受け、Ruby 規格文書の保守および改訂の作業を Ruby アソシエーションに引き継ぐことになりました。このため、島根県にて「Ruby規格保守等基本契約」を締結します。

同契約の締結により、今後の同規格文書の保守および改訂について、Ruby アソシエーションが主導し、主体的に活動していくこととなります。Ruby 言語の開発に関わる組織が規格文書の保守・改訂も主導することにより、開発コミュニティや利用者コミュニティの意見や技術の進歩に密接に即して規格文書の改訂を行えるようになります。これにより、Ruby 言語及び Ruby 規格のより一層の発展・普及が推進されることが期待されます。

■ 「Ruby規格保守等基本契約書」調印式 開催概要

日時：2013年5月13日 13:30～14:30

場所：島根県庁 3階 記者会見室

出席者：独立行政法人情報処理推進機構 理事長 藤江一正

一般財団法人 Ruby アソシエーション理事長 まつもと ゆきひろ

■ 調印式当日の取材に関するお問い合わせ先

一般財団法人 Ruby アソシエーション 事務局 前田修吾

（株ネットワーク応用通信研究所 内）

Tel: 0852-28-9280 Fax: 0852-28-9281 E-mail: shugo@ruby.or.jp

■本件に関するお問い合わせ先

IPA 技術本部 国際標準推進センター 頃末

Tel: 03-5978-7507 Fax: 03-5978-7517 E-mail: osc-info@ipa.go.jp

■その他の報道関係からのお問い合わせ先

IPA 戦略企画部 広報グループ 横山/白石

Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-ing@ipa.go.jp